



人々のために、より良い環境を創造する

当社の活動は、公式WEBサイトでも公開しています。
<https://www.taiseirotec.co.jp/>



大成ロテック サステナビリティレポート

TAISEI ROTEC SUSTAINABILITY REPORT 2023

私たち大成ロテックは、
「進一層」(危機や逆境のときこそ
退かず前へ進む)の精神で、
「世のため、人のため」に貢献する企業として、
持続的成長を実現していくために、
未来に向けて挑戦します。



本報告書は、環境に配慮した印刷工程と印刷資材を採用しています。
再生可能資源で環境負荷を大幅に低減する植物油含有の印刷インキと、適切に管理された森林からの原料を含む「FSC®認証紙」を使用しています。



企業理念

自然と社会と人に
深くかかわる企業として、
人々のためにより良い環境を創造する。

大成ロテック株式会社は、持続可能な開発目標の設定を通して、企業の社会的責任を果たし、人びとのためにより良い環境を創造して社会とすべての利害関係者の信頼を得られるように努める。これを実現するためのマネジメントシステム方針をここに定める。

編集方針

本報告書は、大成ロテック株式会社が社会に果たす役割とさまざまな取り組みを皆様にお伝えし、当社の活動に対する理解を深めていただくことを目的に発行しています。

対象期間

2022年4月1日～2023年3月31日 *一部期日を明記した上で当該期間以外の内容も記載しております。

お問い合わせ先

大成ロテック株式会社 社長室 経営企画部
東京都新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー
TEL 03-5925-9435 FAX 03-3362-5804

安全衛生方針

安全第一の精神を基本として、先取り型の安全衛生管理活動を全員参加で実践し、法令を順守し、労働災害、公衆災害、交通事故を撲滅して、健康でストレスのない明るい快適な職場を構築する。

環境方針

地球環境、地域環境の保全を推進し、資源の有効な利用によって、循環型社会の実現に取り組み、次世代に託す美しい快適環境を創造する。

品質方針

創造力と知恵を結集して技術の研鑽に努め、社会と顧客から評価され信頼される品質を提供する。

CONTENTS

企業理念	1
会社概要	3
中期経営計画(2021～2023年度)	3
営業所ネットワーク	4
社長メッセージ	5
特集 川口オートレース場競走路 改修工事	7
オートレース場の競争路の撤去、復旧、側溝の改修	
●未来を創る大成ロテックの技術力	9
●製品事業本部の取り組み	12
●マネジメント報告	13
●従業員とともに	15
Topics 建築本部の取り組み	17
●地域社会とともに	18
●安全衛生管理体制	19
●環境活動報告	21
●2022年度の工事実績	22

会社概要

商号 大成ロテック株式会社
(英文名TAISEI ROTEC CORPORATION)

本社 東京都新宿区西新宿8-17-1
住友不動産新宿グランドタワー

設立 1961年6月15日(昭和36年)

資本金 113億5百万円

建設業許可 国土交通大臣許可
(特-4)第1964号

建築士事務所登録 1級建築士事務所(東京都知事登録第21111号)

建設コンサルタント登録 国土交通大臣登録 建01第130号

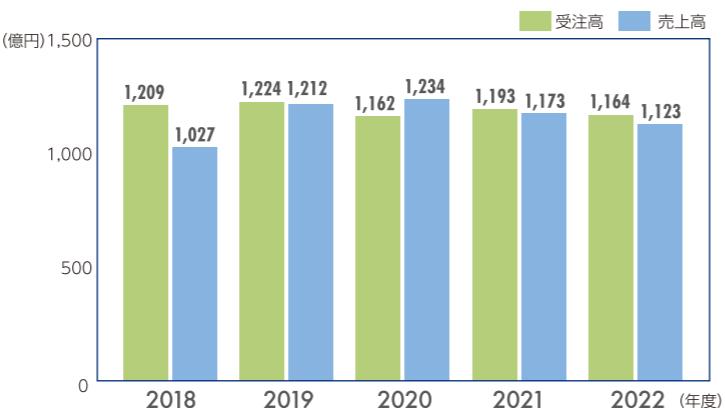
宅地建物取引業免許 東京都知事(13)第33255号

従業員数 1239名(2023年3月31日現在)

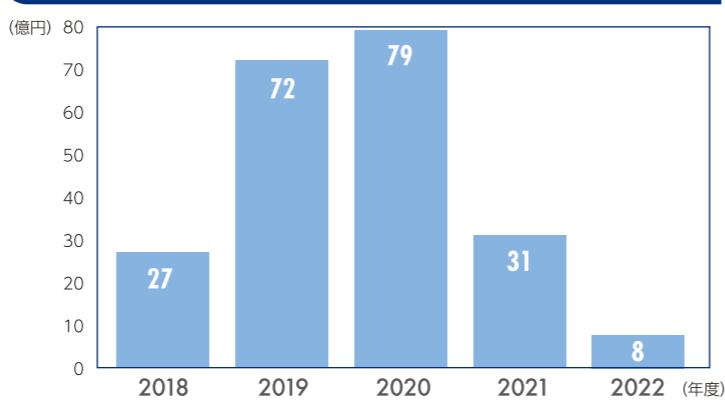
営業種目

- ① 次に掲げる工事の設計、施工、監理およびコンサルティング
 - (1)道路工事 (2)舗装工事 (3)防水工事 (4)管工事
 - (5)造園工事 (6)その他の土木工事
 - (7)その他道路に関する工事 (8)建築工事
- ②建設用資材の製造および販売
- ③建設機械器具の設計、製作、販売、修理および賃貸
- ④道路、空港、上下水道その他公共施設等の企画、建設、保有、維持管理および運営
- ⑤スポーツ施設、飲食店等の商業施設、医療介護施設等の経営および賃貸
- ⑥産業廃棄物の処理ならびにその再生品の製造および販売
- ⑦不動産取引および不動産管理に関する事業
- ⑧発電およびエネルギー供給事業
- ⑨貨物利用運送事業
- ⑩前各号に付帯関連する一切の事業

受注高および売上高



経常利益



営業所ネットワーク (2023年7月1日現在)

本社を中心に支社、営業所、工事事務所、合材工場など、日本全国に拠点を設置。

各種工事の施工、アスファルト合材の製造・販売など、万全の事業ネットワークで豊かな社会づくりに貢献します。

1 本社

技術研究所/機械技術センター/鴻巣研修センター

2 北海道支社

道北エリア 旭川営業所/遠別営業所/釧路営業所/旭川工事事務所/大雪アスコン/遠別合材工場/丹頂アスコン/弟子屈合材工場

道央エリア 札幌営業所/札幌工事事務所/札幌中央アスコン

道南エリア 北斗営業所/登別営業所/苫小牧営業所/日高営業所/苫小牧工事事務所//函館アスコン/イブリアスコン/洞爺アスコン/苫東アスコン/門別合材工場

3 東北支社

北東北エリア 岩手営業所/青森営業所/秋田営業所/北東北工事事務所/岩手中央アスコン/久慈中央アスコン/秋田アスコン

宮城エリア 宮城営業所/山形営業所/宮城工事事務所/仙台東アスコン/山形セントラルアスコン

福島エリア 福島営業所/福島北営業所/いわき営業所/相馬営業所/福島工事事務所/福島県中央アスコン/若松アスコン/福島・県北アスコン/いわきアスコン/相馬アスコン

4 東関東支社

千葉エリア 千葉営業所/成田営業所/千葉工事事務所/成田工事事務所/房総合材工場/成田アスコン

船橋エリア 船橋営業所/柏営業所/船橋工事事務所/柏工事事務所/トーセキアスコン

茨城エリア 茨城営業所/鹿島営業所/ひたちなか営業所/茨城工事事務所/石岡合材工場

5 北関東支社

北関東第一エリア 北関東第一営業所/栃木営業所/さいたま工事事務所/栃木工事事務所/浦和アスコン/鴻巣上谷環境センター/栃木アスコン

北関東第二エリア 北関東第二営業所/花園営業所/群馬営業所/川越工事事務所/花園合材工場

6 南関東支社

東京エリア 東京営業所/京浜営業所/東京第一工事事務所/東京第二工事事務所/東京第三工事事務所/東京青海合材工場/城南島リサイクルセンター/首都圏資材センター/東京乳剤センター

多摩エリア 多摩営業所/山梨営業所/多摩工事事務所

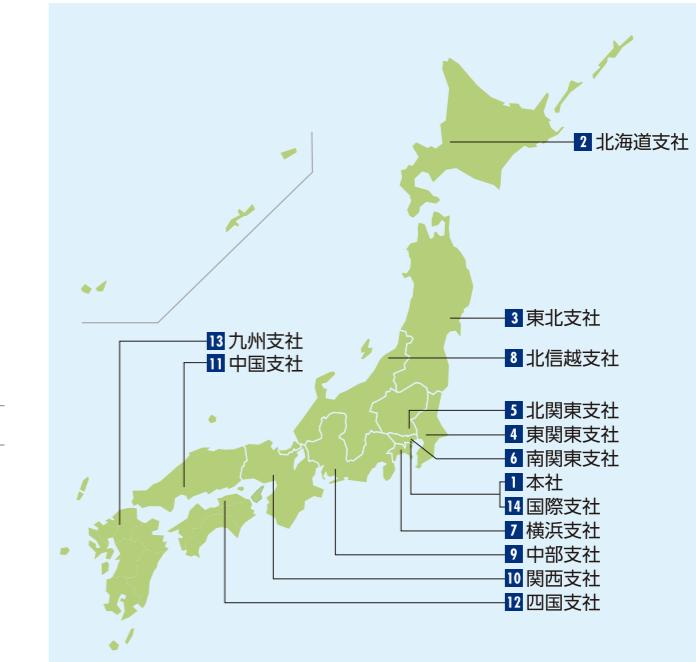
7 横浜支社

横浜エリア 横浜営業所/川崎営業所/箱根伊豆営業所/横浜工事事務所/相模アスコン/金沢アスコン

8 北信越支社

北陸エリア 北陸営業所/富山営業所/福井営業所/石川工事事務所/富山工事事務所/加賀アスコン

信越エリア 信越営業所/長野営業所/新潟工事事務所/長野工事事務所/新潟合材工場



9 中部支社

名古屋エリア 名古屋営業所/名古屋工事事務所/エーシートヨアケ

尾張エリア 尾張営業所/尾張工事事務所/小牧合材工場

三重エリア 三重営業所/三重工事事務所/名四アスコン

静岡エリア 浜松営業所/静岡営業所/浜松工事事務所/湖西アスコン/静岡アスコン/イフレキ

10 関西支社

大阪エリア 大阪営業所/大阪工事事務所/岸和田合材工場/淀川アスコン

神戸エリア 神戸営業所/神戸工事事務所/せいしんアスコン/姫路アスコン

京阪エリア 京阪営業所/京都営業所/福知山営業所/舞鶴みなど営業所/京阪工事事務所/大阪アスコン/福知山合材工場/舞鶴みなどアスコン/京丹後アスコン/綾部アスコン

11 中国支社

東中国エリア 岡山営業所/鳥取営業所/東中国工事事務所/津山合材工場/鳥取合材工場

西中国エリア 広島営業所/山口営業所/呉営業所/島根営業所/広島工事事務所/山口工事事務所/広島合材工場/吳合材工場/島根アスコン/防府アスコン

12 四国支社

四国エリア 香川営業所/愛媛営業所/四国工事事務所/池田アスコン/北岡アスコン/脇町合材工場/東予アスコン

13 九州支社

北部エリア 北部営業所/大分営業所/佐賀営業所/北部工事事務所/玄海アスコン/豊海アスコン/佐賀合材工場/福岡サテライト工場

中南部エリア 中南部営業所/宮崎営業所/鹿児島営業所/中南部工事事務所/熊本合材工場/阿蘇合材工場/ひむか合材センター

沖縄エリア 沖縄営業所/沖縄工事事務所/海邦アスコン/久米島合材工場

14 國際支社

TAISEI ROTEC SUSTAINABILITY REPORT 2023

中期経営計画(2021~2023年度)

当社はコンプライアンス遵守を基本とする経営方針のもと、高収益体质への転換に取り組み、今後の持続的成長を実現し、業界内での確固たる地位を確立するため、今般、中期経営計画(2021~2023年度)を策定しました。

Sustainability

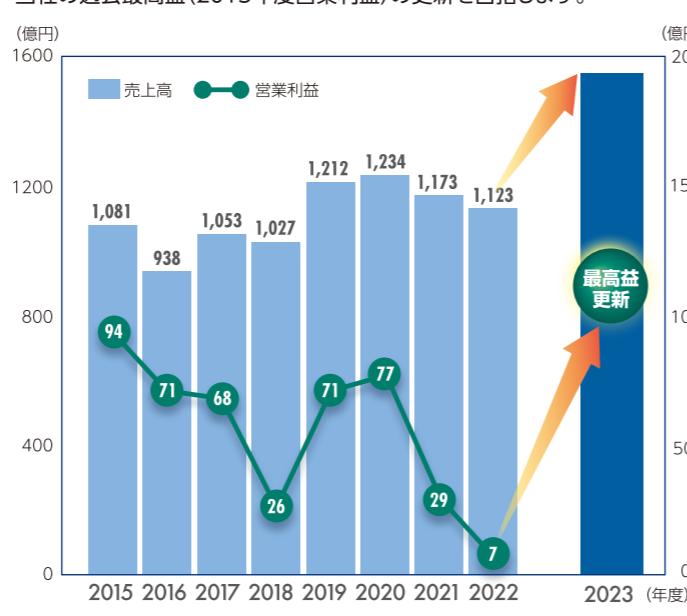
持続的成長を実現していくために
私たちは未来に向けて挑戦します

コンプライアンス遵守を
全ての事業活動の基軸とし、
右記を重点施策とします。

- 1 人材の獲得及び育成
- 2 本業の拡大
- 3 新規事業の収益化
- 4 技術開発の推進
- 5 安全・環境・品質の向上
- 6 グループ力の強化

経営数値目標

当社の過去最高益(2015年度営業利益)の更新を目指します。





Sustainability

持続的成長を実現していくために、
私たちは未来に向けて挑戦します

代表取締役社長 西田義則

サステナビリティとは、「環境」「社会」「経済」の3つの観点で調和を取り、長期的に継続できる世界を築いていくという考え方です。当社は長年にわたり、「自然と社会と人に深くかかわる企業として、人々のためによりよい環境を創造する」という企業理念のもと、成長を続けてまいりました。これからも持続可能な社会の実現に向けて、「世のため、人のため」の企業として、省エネ・CO₂削減技術の研究開発、循環型社会への貢献など、環境に配慮した事業展開を行い、地域社会との連携を通じて、社会的責任を果たしてまいります。

中期経営計画(2021~2023)の目標達成に向けて

持続的成長を目指すため、2021年度から始まった「中期経営計画(2021~2023年度)」の最終年度となる今年は、極めて重要な年となります。

基本方針

■「世のため、人のため」の企業として社会に対する責務を果たすために、企業・経営・行動の各理念に立ち還り、コンプライアンスを基軸とした事業活動を「責任と信用」を第一に「進一層」の精神で強力に推進していく。

■「名実ともに業界No.1」への道程として、持続的成長を実現することで過去最高利益を更新し、スーパーゼネコン系道路会社で「No.1」、社員の待遇も「No.1」を目指す。

■社員一人ひとりが主役の企業に
社員一人ひとりの個性を生かせる企業に
社員一人ひとりがこの会社でよかつたと思える企業に
夢のある企業へ

重点施策

1 人材の獲得及び育成

「企業は人なり」の実践

2 本業の回復・目標利益の達成

本来の本業の姿に戻す戦略

3 新規事業の収益化

早期の収益化とカーボンニュートラルに向けた取り組みの推進

4 技術開発の推進

将来への飛躍を目指し、夢のある技術の開発

5 安全・環境・品質の向上

社会からの信頼の獲得

6 グループ力の強化

最強のグループ構築

サステナビリティへの取り組み

Sustainability Development

持続可能な発展に向けて

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、大成建設グループで策定された「TAISEI Green Target 2050」に基づき、当社は温室効果ガス実質ゼロを目指しています。工事部門と合材部門では、CO₂排出削減効果の高い重機の選定や、アスファルトプラントの中温化(低炭素)アスファルト出荷対応に向けた設備の更新、重油からガスへの燃料の転換などを進めています。また、オフィス部門でも、エネルギーのさらなる削減やペーパーレス化など、TAISEI Sustainable Action(大成建設グループ全体の環境負荷低減活動)に選定された項目に基づき、取り組んでいます。

2017年から開始した中小水力発電事業は、大成建設グループの創業者である大倉喜八郎翁の生誕地である新潟県新発田市の石川川で、2024年度中の本格稼働を目指しています。この事業により、二酸化炭素を発生させないクリーンエネルギーを供給し、より持続可能な社会の実現に貢献することを目指します。

さらに、創立60周年の記念事業として計画された「大成建設グループ次世代技術研究所」である幸手研究所は、2024年度の運用開始を目指して着工しました。

同研究所では、環境に配慮した技術である植物由来のリグニンを利用したカーボンニュートラルなアスファルトコンクリートや、二酸化炭素を固着させたカーボン・プール・コンクリートなどの早期実用化を目指しています。また、敷地内の道路や駐車場に、太陽光発電舗装やネイチャーポジティブを考慮した緑化舗装を施し、持続可能な環境配慮型社会の実現を目指しています。

そして、幸手研究所で試験施工レベルまで開発された舗装技術の早期実装に向けて、実大規模レベルでの耐久性を実証することができる「大型実験走路」を福島県田村市に建設する予定です。

持続的成長に向けて

大成建設グループは2023年に創業150周年を迎えることができました。

現在、道路建設業界は、資材価格やエネルギー価格の高騰の影響を受け、厳しい状況にあるといえます。しかしながら、当社は未来を見据え、創業者の大倉喜八郎翁の諦めず前を向いて進む「進一層」の精神、そして「責任と信用」を第一に掲げ、今後も成長を続けてまいります。

引き続き、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



PICKED UP CONSTRUCTION

当社は多くのオートレース場の施工実績があります。本工事はプロポーザル方式で、競争路に選手が求める性能を長時間維持するために4つの提案をし、受注にいたりました。

- 1 素早く均一に雨水が引き、不安定なブチ走路になりにくい路面
- 2 滑りにくい路面
- 3 タイヤのすり減りにくい路面
- 4 耐久性が高い路面



契約工期 2022年2月28日～2022年12月31日

主な工種 競走路改修26,000m²(平均25cm)

場内舗装560m²

側溝工480m

区画線工1,630m

アスファルト舗装版を切削し、アスファルトイニッシャのスクリードを超音波センサーで自動的に制御。遮断層、基層、表層を施工しました。レース開催の日程により、11月末日に施工完了しました。

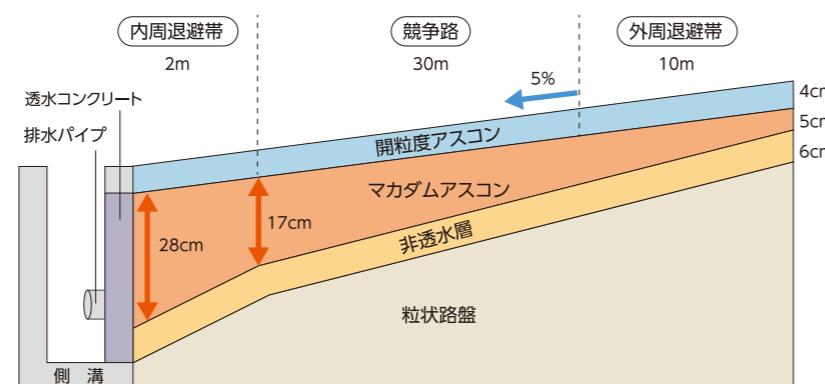


川口オートレース場競走路 改修工事

オートレース場の競走路の撤去、復旧、側溝の改修



舗装断面図



現 場 の 声



【監理技術者 佐藤貴紀】

レース休止期間中に、競走路の全面改修工事と追加発注された外周部のフェンス工事を完成する工事でした。本社・支社および協力会社の皆様の支援により、選手の方にも満足していただける競走路ができました。

本工事に携わることができ感謝しております。

【受注プロジェクト営業活動グループ】

川口オートレース場は、全国に5か所あるオートレース場の中でもトップの売上を誇ります。施工はこれまで他社が担当していました。

今回の案件では、指名型プロポーザル方式が採用され、当社の技術提案力をアピールする機会となりました。本支社の営業部門・技術部門と現場のオートレース場の経験者がプロジェクトチームとして取り組みました。その結果、他社が長年守ってきた地位を崩すことに成功し、受注を獲得することができました。この成功は、これまでオートレース場建設に関わってきた先輩たちの功績にも支えられたものです。

未来を創る 大成ロテックの 技術力。

長年培ってきた技術力・知識から生まれた多くの新技術・工法があります。環境の保全・資源の有効利用などSDGs達成の一翼を担っています。

Value Creation

循環型社会
の構築

地球環境
保全

快適な
くらし

災害時の
対応

安全・安心な
インフラ構築

Value Creation

路面騒音の抑制

排水性・透水性舗装「ポーラススペーブ」

連続した空隙を有するポーラスアスファルト混合物が、タイヤと路面の接触時に発生する騒音を抑制する舗装です。

PRMS多機能工法

排水性舗装の表面の空隙部に弾性レジンモルタルを充填する工法。弾性モルタルがタイヤと路面の接触時に発生する騒音を抑制します。

Value Creation

ヒートアイランド対策

保水性舗装「クールロード」

ポーラスアスファルト舗装の空隙に充填した特殊なセメントグラウトが水を蓄え、その蓄えられた水が蒸発する際に路面温度の上昇を抑制する舗装です。

遮熱性舗装「クールウェイ」

太陽光のうち、物体の温度を上げる“近赤外線”を効率良く反射する特殊な塗料“遮熱性塗料”を舗装の表面に塗布した舗装で路面温度の上昇を抑制します。

Value Creation 維持・修繕

リラクスファルトHT舗装

変形追従性(たわみ性)や応力緩和性、塑性変形抵抗性を改良した特殊改質アスファルト混合物を用いて、ひび割れとわだち掘れの発生を抑制する長寿命化舗装。維持管理におけるコストダウンを図ることができます。



ワンダーコーティングシステム

構造物の延命を目的に開発された高性能塗装システム。構造物へ常温での塗装が可能で、乾けばガラス質膜が形成されます。

ガラス質膜が構造物表面を風雨や紫外線等から守り、構造物の寿命を延ばし、メンテナンスを容易にします。劣化の防止、外観の長期維持、および汚れを簡単に除去できる機能を持つガラスコーティング技術です。

〈施工前〉



〈施工後〉



Value Creation

防 災

地下貯留工法

公園や駐車場などの地下に貯留槽を構築する工法。都市部のゲリラ豪雨など、短い時間で降った大量の雨を一時的に貯留することで、道路等の冠水の発生を抑制します。

スーパーフレックスファルト

アスファルトフェーシングダムや貯水池のアスファルト表面遮水壁に使用する、たわみ性に優れひび割れの発生を抑制するアスファルト混合物。地震時の急激な堤体の変形にも追従し、アスファルト表面遮水壁の耐震性が向上します。

Value Creation 景観舗装

ウッドファイバー舗装

間伐材を再利用したウッドファイバーと樹脂を用いた舗装で、クッション性が高く自然に調和する舗装です

ソフトウォーク

リサイクルゴムチップを用いた舗装。透水性と適度なクッション性を有し、歩道路やジョギングコースの舗装に適しています。



インジェクト工法

大型車が走行しても破損しない、耐久性抜群の自然石舗装の構築工法。歩車道一体の石畳の景観舗装を可能とします。

最初の施工場所は定期バスや大型観光バスが走行する路線で、供用開始から20年を超ましたが、良好な供用性を維持しています。

景観舗装として、駅前広場や商店街、神社仏閣など全国各地で多くの実績があります。



JR東京駅丸の内駅前広場



出雲大社前

TNC自然色舗装

脱色アスファルトを用いて、天然の骨材が持つ自然な色彩をそのままに、さまざまな情景にマッチする自然色舗装です。

高耐久木材保護塗料「モッコート」

外装木材の耐久性を大幅に向上させる無機系水性塗料です。外装木材に塗布することで、紫外線や降雨などの外的劣化因子から長期的に木材本来の美観を保護します。

〈未塗装〉



初期



3,000時間後

モッコートを塗布すると、色や木目の美しさを維持することができます。



初期



3,000時間後

Value Creation 常温合材

TRミックスアクリ

「充填する・水をかける・踏み固める」の3ステップで施工できる専門技術不要の全天候型高耐久アスファルト補修材です。

袋から出してそのまま使用でき、水しか使用しないので、誰でも簡単で安全に作業できます。水と化学反応して硬化する画期的なアスファルトで、約30分で硬化。すぐに交通解放が可能です。

雨天でも使用することができ、緊急時の舗装復旧だけでなく、ポットホールの穴埋めや段差解消のためのスロープ状のすりつけ等、簡易的な補修や雑草の抑制などにも活用できます。

幅広い用途があるため、自衛隊、高速道路株、ゴルフ場、駐車場管理会社、ホームセンター等で採用実績があります。



持続可能な社会の実現を目指し、
新たな技術開発・研究と研鑽を
重ねています。



研究開発 の拠点 技術研究所

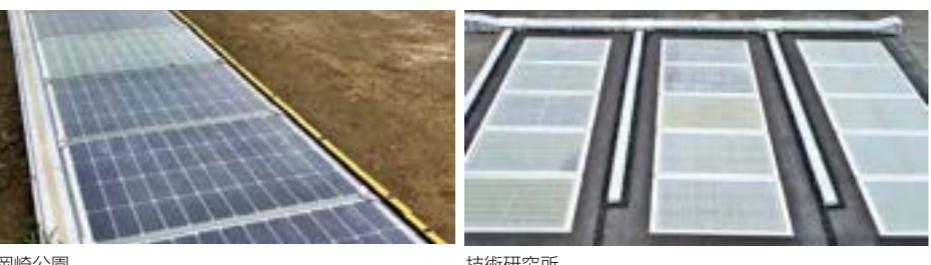
技術研究所では、さまざまな分野の技術の連携や融合を図り、社会的に求められているカーボンニュートラルの実現へ向けた技術開発や、舗装の長寿命化を目指した技術、再生可能エネルギーを創出する舗装技術など、国民生活の利便性の向上や安全・安心の確保に貢献できるよう所員一丸となって活動しています。

路面式太陽光発電舗装システム

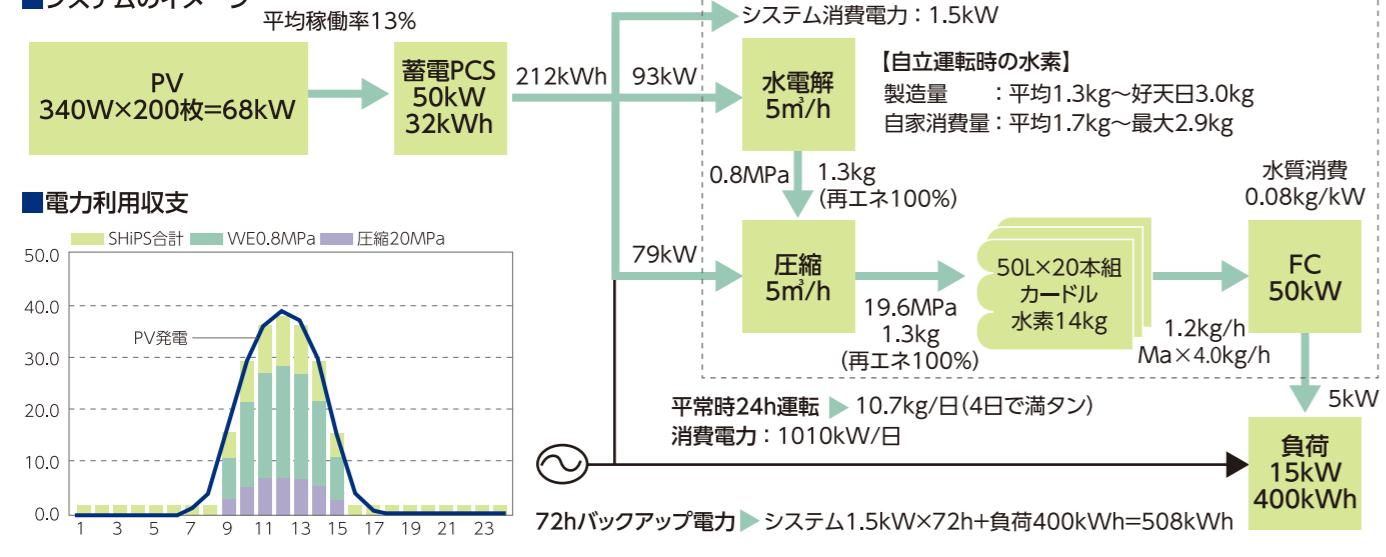
国土交通省の定めた「道の駅等の防災拠点の耐災害性を高める技術導入ガイドライン」に採用されました。採択名称は「路面を活用した太陽光発電と水素燃料電池による電力供給システム～路面式太陽光発電舗装システム、水素製造・燃料電池、定置型蓄電池の組合せ～」です。

近年の自然災害による被災状況などを踏まえ、今後ますます頻発化、激甚化する災害に対する活動拠点として道の駅が活用されています。活動拠点として災害時に民間の電力会社等が供給する電力が遮断されても、「道の駅」が道路施設として独立した電源システム(発電設備/蓄電設備)を72時間確保し、その電力により継続的に安定して道路管理(被災状況の確認や復旧活動など)ができる機能を備えた完全なオフグリッドシステムを提供します。非常災害時のみならず、平常時にも電力を供給することができます。

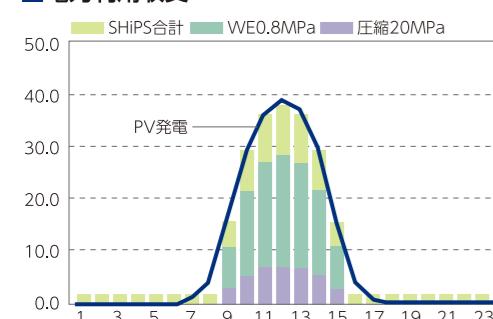
実物は技術研究所(埼玉県鴻巣市)および岡崎公園(愛知県岡崎市)に設置しています。



■システムのイメージ



■電力利用収支

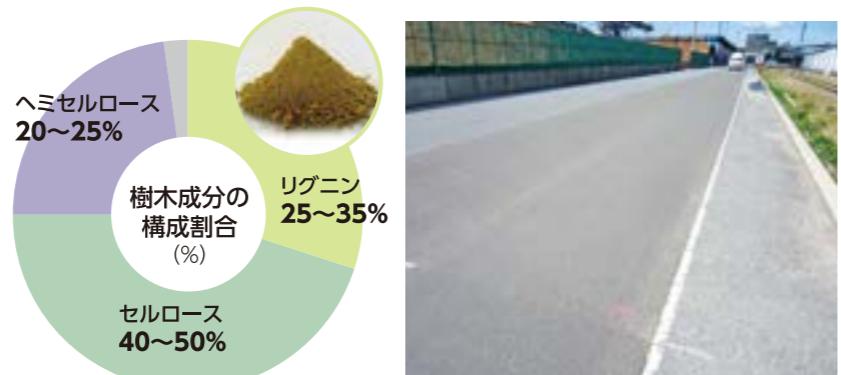


木から作る舗装CO₂固定アスファルト混合物

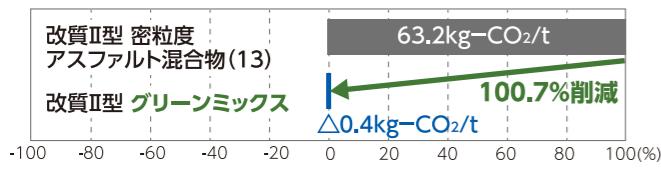
植物は光合成により大気中の二酸化炭素を吸収し酸素を放出することで、大気由来の炭素を用いて成長しています。製紙工場では木材チップからセルロースを抽出した副産物(黒液)からリグニンが得られます。リグニンには大気由来の炭素が豊富に含まれ、約60%が炭素です。

当社はリグニンをアスファルト混合物に配合するCO₂固定アスファルト混合物の開発に成功しました。

今後は炭酸カルシウムなどとリグニンを組み合わせたグリーンミックス(製造時CO₂排出量と材料のCO₂固定量で差引きCO₂排出量ゼロ)を開発しています。



■グリーンミックス計算例 CO₂インパクト (合材製造時の排出量と材料固定量との差)



製品事業本部の取り組み

当社の合材工場における重油などの化石燃料や電力のエネルギー消費量は、大成グループ全体の25%に近い割合を占めています。【TAISEIVISION2030の3つのX】の基、サステナビリティransフォーメーション「SX」に対して至上命題として改善を図ることは、グループ全体の削減に大きく寄与するため、実現に向けてさまざまな取り組みを行っております。

CO₂ アスファルトプラント設備更新による脱炭素化

札幌中央アスコン

2022年4月、当社単独工場である札幌市内の札幌中央アスコンをリニューアルしました。

当工場は脱炭素化に特化した機械設計としており、業界の脱炭素化に先駆けて燃料のLPG化やダウンサイジングによる高効率化、グリーン電力の採用などにより、二酸化炭素排出量を2030年目標である従来の50%に削減させています。また、硫黄酸化物の排出ゼロも目指します。

工場敷地の壁面には北海道の四季や札幌の代表的なシンボルである時計台とクラーク像をイラストで描き、より地域に親しまれやすいデザインとしました。

今後も地域に根差し環境に配慮した工場運営を図っていきます。



札幌中央アスコンプラント全景



壁面外観

いわきアスコン

2022年8月、地元建設会社をスポンサーに3社の共同企業体として、福島県いわき市で運営するいわきアスコンをリニューアルしました。

当工場は燃料をガス化、高効率機器の導入により、従来工場と比較して、二酸化炭素排出量を35%削減、さらに工場本体をシェルターで囲み、粉塵・騒音などによる周囲の環境負荷の低減を図っています。



いわきアスコン全景

岩手中央アスコン 中間処理施設

当社では、循環型社会の一旦を担うべく、古くなった舗装やビルなどを解体した際に発生する廃材を受け入れ、中間処理により再びアスファルト合材の材料となる再生骨材や舗装の支持層となる再生路盤材を製造しています。

2022年4月、当社がJVスポンサーを務める共同企業体岩手中央アスコンの中間処理施設をリニューアルしました。

導入した設備は従来の機械より処理能力が大きく、また、機械を建屋で覆うことで景観や環境にも配慮した造りとなっています。事務所・試験室も建て替え、東日本大震災時の教訓をもとに太陽光発電を利用した非常用電源を設置。非常時にも万全に対応します。



中間処理施設全景

試験室
骨材置き場棟

CO₂ 脱炭素化に向けた取り組み

- ガス化や廃食油などの代替燃料への燃料転換
- 低炭素(中温化)合材製造装置の全国導入展開
- 高効率機械装置による省エネ化
(工場建替、設備更新)

脱炭素化への取り組み以外にも、デジタルトランスフォーメーション「DX」としてプラットフォーム型オーダーシステム「アスピラネット」や設備管理業務サポートシステム「NEOシステム」を開発・導入し、働き方改革にも有効に活用しています。大成スピリットである自由闊達・伝統進化・価値創造を胸に、グループ理念である「人がいきいきとする環境を創造する」を達成するため、これからも各自が目標達成および課題解決に向けて能力を最大限発揮させていきます。

信頼される企業であり続けるために。

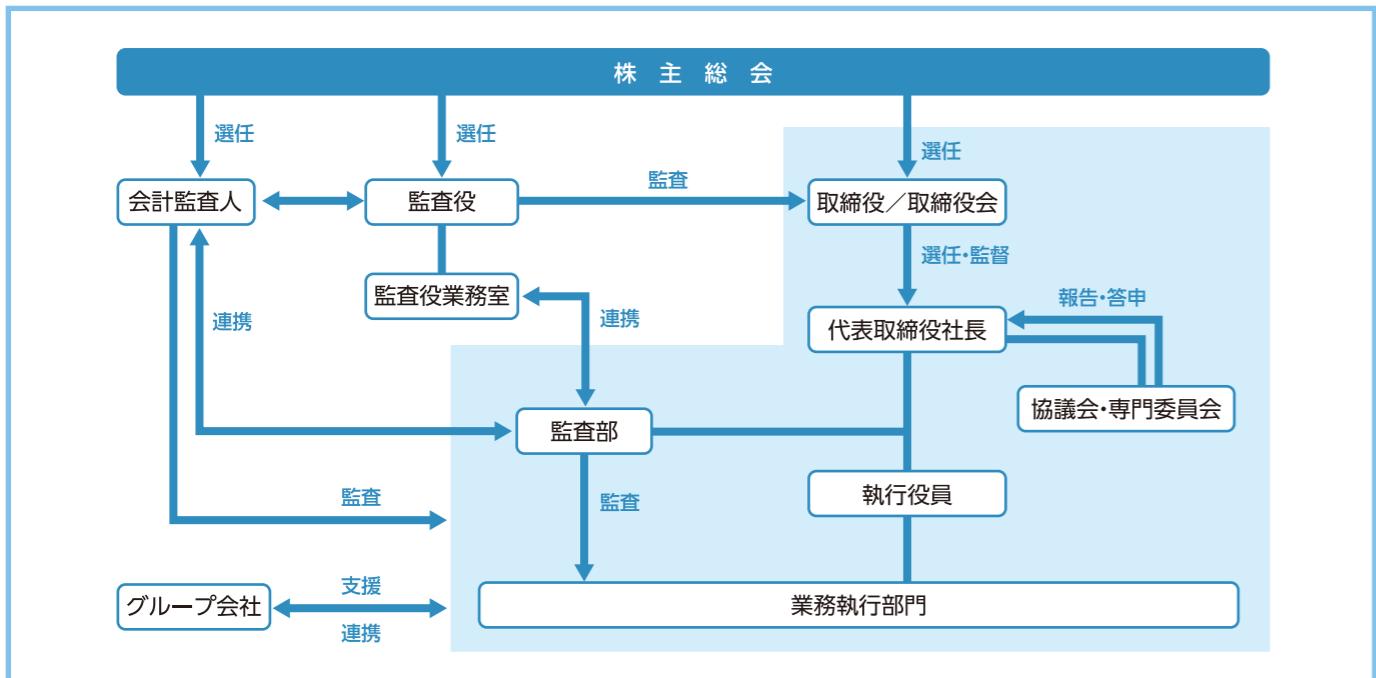
企業統治

大成ロテックでは、経営の効率化・透明性・健全性を高めるためにコーポレートガバナンス体制の充実・強化を図り、企業価値を向上させることを目指しています。

取締役会(社外取締役を含む)は、経営上の重要事項の決定と業

務執行の監視を行います。監査役は、取締役会などの重要な会議への出席を通じて取締役の職務執行の適正性、健全性について監査を実施しています。また、執行役員制度を導入し業務執行の効率化・迅速化を図っていきます。

■コーポレートガバナンス体制図



コンプライアンスの推進

大成ロテックでは、「大成ロテック企業行動規範」を基本にコンプライアンスを推進し、社会から信頼される企業となるため、法令などの遵守や公正な取引の確保などを図っています。

また、今年度は、昨年度に引き続き、「法務コンプライアンス部」および「監査部」を中心に、一連の独占禁止法違反事件を受けて策定した再発防止策に関するフォローを重点的に行い、関係各部門と連携することにより、再発防止策のさらなる徹底を図っています。



コンプライアンス研修の様子

具体的な取り組み

- 従業員一人ひとりに対してコンプライアンスを徹底させるために、毎年、全国の支社・工事事務所・合材工場などにおいてコンプライアンス研修を開催しています。また、本年度は談合・カルテル防止対策として、これまでに制定してきた一連の諸規程・制度を全体的に俯瞰し、それらの整合性を図りながら、対策項目の重複やルールの煩雑さ・実効性などを検証し、より社員に分かりやすく、かつ実効性の高いルールとすべく、その再構築を図っています。

- 2018年4月から、全社員に対して「コンプライアンス通信」を発行しています。建設業法・ハラスマント・環境問題・労働関連など毎回テーマを変え、月に1回を目途に配信し、コンプライアンス遵守意識の向上に努めるとともに、日常業務におけるコンプライアンス資料としての活用も図っています。
- 営業活動におけるコンプライアンス遵守状況の確認のため、社内規程「独占禁止法遵守のための行動指針」「入札業務の適正確認手続きに関する細則」に則り、毎年入札業務の監査を行っています。

情報セキュリティ対策

情報化社会は私たちの生活を便利にし、多種多様な利益をもたらしています。しかし利便性を得た反面、サイバー攻撃やインターネットにおけるトラブルなど大きな危険を抱えています。これらの脅威から会社の情報資産を守るために、情報セキュリティレベルの向

上、社員が遵守すべきことを定めた「情報セキュリティ管理規程」の制定やEラーニングによる研修の実施をはじめとする、さまざまな情報セキュリティ対策を講じています。

個人によるX(旧Twitter)、Facebook、などの情報発信メディアによるトラブルの防止する行動指針として「ソーシャルメディア利用ガイドライン」を制定しています。

マネジメントシステム

当社は現在3つのマネジメントシステムを社内で運用しています。実態が外から見えにくい品質管理システム、環境管理システムについては国際規格であるISO9001とISO14001に基づく外部の認証登録を受け、2017年に2015年版の移行審査を受け、移行が完了しています。第三者から定期的にその運用状況について審査を受け、日々業務の継続的改善に努め、当社の持続的な成長に繋げています。また、社外からその活動が見えやすい労働安全衛生管理システムについては2017年度までは自己宣言方式を採用して運用していましたが、2018年度にCOHMSMSに基づく外部の認証登録を受けました。



ISO9001登録証 ISO14001登録証 COHMSMS認定証

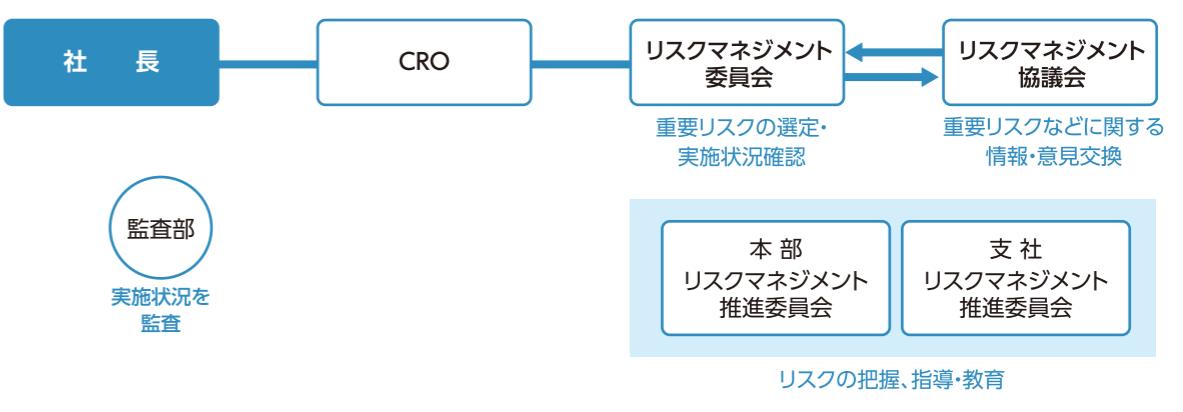
リスクマネジメント

会社の社会的信用を損なわせる可能性のある事象、会社に人的、物的もしくは経済的損失を発生させる可能性のある事象をリスクと定義し、各本部・支社において抽出されたリスクの中から、特に影響度や発生の可能性・頻度が高いリスクについては「全社重要リスク」として管理・周知を図り、適宜必要に応じて見直しを実施しています。各部門ではそのリスクについて日常的にモニタリングし、リ

スクコントロールがなされているかをチェックしており、また、監査部はリスクマネジメントの実施状況に関する監査を実施しています。それらを継続的に実施することにより、リスク発生の予防、リスク発生による損失の最小化、再発の防止およびリスク対策の評価と改善を行い、大成建設グループの一員として企業の社会的責任を果たしています。

■リスクマネジメント実施体制

平常時 リスクの事前対策 リスク発生時 損失の最小化および損失の拡大防止



DEIを促進し、働きやすい環境づくりを実現。

人権の尊重

「大成ロテック企業行動規範」で基本的人権の尊重を掲げ、社長を委員長とした人権啓発協議会を設置して、差別のない社会の実現とハラスメントのない良好な職場環境づくりを推進しています。また、人権啓発研修会の実施はもとより、各社内研修のカリキュラムにも人権研修を組み入れ、従業員に対し人権に対する意識の向上を図っています。

人権啓発協議会

目的

- 同和問題をはじめ、社会に存在する様々な差別事象を正しく認識する。
- 不合理や差別を無くすよう努力する社員の行動を促進する。
- 人権尊重の目的を達成する為の啓発活動を行う。

活動方針

- 人権は本来持っている権利であり、全ての人が等しく幸せな生活を営むための基本的な権利であることを正しく認識し、より良い人格形成を目指す社員の成長を支援する。
- 同和問題、障がい者、エイズ、セクハラ等の差別の実態を正確に理解し、集合研修や職場等で人権意識の高い従業員の育成を図る。

働き方改革の推進

週休二日制の実現

2022年度以降は4週8休とする目標を掲げ、その実現を目指しています。

有給休暇平均取得日数(2022年度)

9.4日

3C活動 3つのCommunication

業務指示者	業務遂行者
1 優先順位を明示しよう!	1 途中経過を報告しよう!
2 業務負荷を確認しよう!	2 許容範囲を認識しよう!
3 具体的な指示を出そう!	3 不明点は即確認しよう!



業務遂行者

働き方改革の動き

- 2020 【4月】 ●新入社員の完全土日休暇の導入
●在宅勤務(テレワーク)の試行実施

【9月】 ●直行直帰制度統一運用開始

【11月】 ●産業医面談にWeb面談を導入

2021

- 【1月】 ●介護・看護休暇規定の改定(時間単位の取得)
【4月】 ●女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画(第2期)

【7月】 ●社内コミュニケーション活性化(3C活動)の周知徹底

2022

- 【7月】 ●健康経営宣言
【10月】 ●節目代休制度の運用開始
●育児休業規程・保存有給休暇制度の改定

ダイバーシティの推進

多様な人材が活躍できる働きやすい会社を目指して

女性、外国人、障がい者などの「多様性のある人材活用」や、就業時間の選択制などの「多様性のある働き方」の推進を行っています。2021年4月には「女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画」を新たに策定し、男女ともに働きやすい会社を目指しています。

仕事と子育ての両立

社員が能力を十分に発揮できるように次世代育成支援対策推進法に基づく「一般事業主行動計画」の策定や、出産・育児や介護にかかる休業・休暇制度の整備をしています。育児休業5日間を有給化し、男性社員の育児休業取得率100%を目指して取組みを推進しています。

育児休業取得者数 (2021年度生まれ)



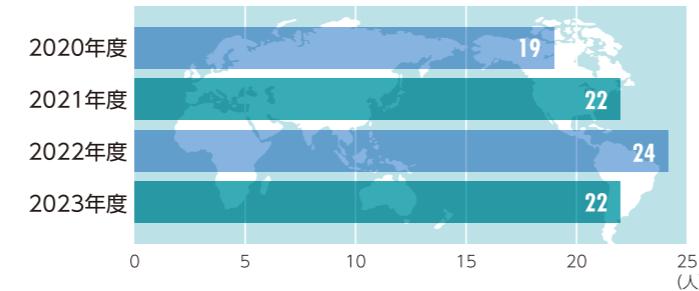
障がい者雇用率の達成

障がい者雇用を積極的に推進し、法定雇用率の達成を実現しています。

外国籍従業員の採用

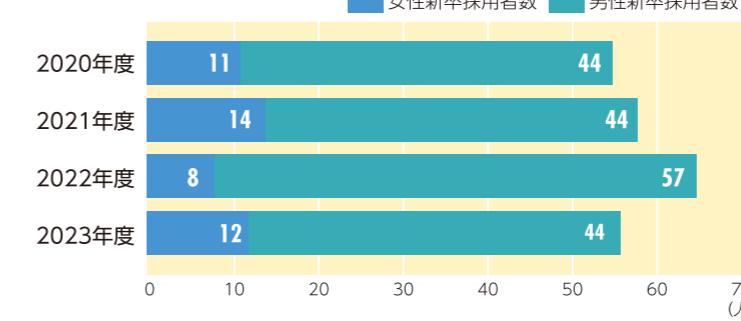
当社では、外国籍の社員も活躍しています。今後も積極的に採用を行い、多様な人材の活躍を推進していきます。

外国籍社員在籍人数推移



女性のさらなる活躍を推進

女性の新卒採用人数推移



女性管理職の就任

女性の部長や室長、工場長が就任し、全国で活躍しています。

女性社員研修会の実施

本社および各支社にて、女性社員を対象とした「ビジネススマナー研修」などの各種研修を実施しています。

今後も女性社員の研修や意見交換会を随時開催し、女性の働きやすい職場づくりに努めています。



人材啓発活動

新入社員研修に始まり、階層別研修や各種専門研修、資格試験対策研修を体系的に実施し、OJT教育、通信教育制度などと合わせて、従業員の成長をバックアップしています。

スキルアップ研修・部門別専門研修

※下記の研修は一例です

1年次～	3年次～	30代～	40代～
○新入社員研修	○技術(3年次)研修	○新任係長研修	○新任課長格・プレゼン研修
○新入社員フォローアップ研修	○工事担当者(初級)研修	○国際研修	○マネジメント研修
○基礎技術(2年次)研修	○工事担当者(6年次)研修・プレゼン研修	○工事担当者(上級)研修	○部長格研修
○機械担当者(初級)研修	○中級品質管理担当者研修	○現場代理人研修	○工事担当者能力向上研修
○品質管理担当者(新規)研修	○合材工場機械担当者研修	○情報化機械施工研修	○新任工事事務所長研修
○CAD研修	○エンジニアリングレベルアップ研修	○上級品質管理担当者研修	○新任工場長研修
○営業基礎研修	○情報化施工(ICT)研修	○建築社員スキルアップ研修	○新任営業所長研修
○合材工場営業担当者研修	○原価管理研修	○PFI事業関連研修	○営業活動の強化研修
○法務研修	○1級土木受験対策研修	○ビジネス法務研修	○建設業界用マーケティング実践研修
○2級土木受験対策研修	○1級舗装受験対策研修	○舗装診断士受験対策研修	

より充実した研修のために

鴻巣研修センターがリニューアルされ、宿泊室が全室完全個室となり研修生のプライベート空間が確保されました。

ウェルネススペースは用途に合わせて「アクティビゾーン」「リラックスゾーン」「スタディゾーン」の3つに分かれしており、舗装会社であることを意識して、モルタル調の床や人工芝など外構を想起させるデザインに統一しています。



社長・本部長表彰

2022年6月15日(水)に「従業員表彰式」が行われました。

営業や設計、工事、技術、研究などの各分野で優れた成績を残し、社業の発展に寄与した個人や団体、グループを対象とした表彰です。2021年度より、表彰時期を固定しない顕彰制度も制定し、顕著な功績に対してスピード感を持った表彰を実現しています。



Topics

建築本部の取り組み

大成ロテックの建築部門では、これまで数多くの建築物件を施工してきました。

2022年度に建築本部が設立され、事業として成長するべく、より一層の実績を積み重ねてきました。

2022年度には、鈴鹿サーキット内のホテルの温泉施設を完成させることができました。本業とのシナジー効果が期待できる案件であり、建築本部の新たな取り組みの一つとして大きな実績を残すことができました。特に、建築・設備工事における品質管理や技術力の向上に取り組んだ事例を紹介します。

3Dモデルの作成

既存建物からの改善

既存建物の使用勝手について発注者からヒアリングを重ね、設計者とも打合せを実施し、使用勝手に合致した設備機器・配管の配置を提案しました。

3Dモデルを作成し、発注者および設計者と協議を行うことで、建築・設備の取合の検討や、完成後のルートを含めたメンテナンスの効率化を図ることができました。



鈴鹿サーキットホテル温泉棟[THE SPA]工事

施工事例の確認・改善案の検討

本工事は、外部屋根の軒天井、外壁の縦格子、内部ロビーの天井に地元の三重県産ひのき木材を使用。特に外部に使用するひのき木材は、経年変化に対応するべく、既存建物の視察、乾燥方法、塗装材料の選定に注力しました。

国立競技場でも使用している乾燥方法(右写真)、塗装材料を使用しています。その結果、経年変化にも対応でき、ナチュラルモダンティストで統一された温かみのある仕上りとなりました。



お客様の満足のために

内外装ともに意匠性が高く、短工期の施工でありましたが、発注者および設計者との細かい打合せを重ねたことで、発注者に満足いただける建物を完成することができました。

現場担当者の声

工事管理には大変苦労をしましたが、利用者も大変満足されていると聞き、非常に感慨深い思いをしています。



豊かな社会の構築に貢献しています。

本社

2023 Hertz FIM トライアル世界選手権 第3戦大成ロテック日本グランプリに協賛

「トライアル」とは高低差や傾斜、障害物が複雑に設定されたコースを専用のバイクで乗り越えながら進み、いかに足をつかずにゴールへたどり着けるかという技術を競うモータースポーツです。当社は、2023年5月に「カーボンニュートラルイベントの実現」をテーマに掲げて行われた本大会に、冠スポンサーとして協賛しました。



北海道支社 2022年6月

近隣小学校 グラウンド整備

札幌工事事務所では地域貢献活動の一環として、近隣小学校で5年以上にもわたり、塩化カルシウム散布によるグラウンド環境整備に取り組んでいます。本整備には保水力をアップし砂埃を防止する効果があるため、毎年運動会前に実施しています。今回も当社社員や協力会社社員を含む8名が参加し、70袋分の塩化カルシウムを手作業で散布しました。



北信越支社 2022年11月

使用済み切手運動

北信越支社では、使用済み切手を集めて日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)に送る活動を行っています。得られた収益はアジアやアフリカの看護学生の教科書代や授業料・実習費になり、国際保健医療協力活動に役立てられます。今後も継続して取り組み、困難の中にある人々の健康と命を守る手助けをしていきたいと思います。



アニマルパスウェイと野生生物の会 啓発アニメ制作に協賛

「アニマルパスウェイ」とは、文字通り「動物の通り道」です。分断された森林をつなぐ、樹上性の野生生物の道「アニマルパスウェイ」の設置および普及と、森林の生物多様性、保全活動の支援を行う同会の趣旨に賛同し、「ロードキルや横断障害から動物たちを守る歩道橋の啓発アニメ制作プロジェクト」に協賛しました。



東関東支社 每月第1水曜日

新町をきれいにする会

東関東支社では毎月1回、テナントビルの皆さんと地域の清掃活動を行っています。千葉市を訪れる方々に「きれいな街」と思っていただけるように思いを込めて清掃しています。



九州支社 2022年10月18日～2022年10月21日

近隣小学校 社会科見学会

玄海アスコンでは、毎年近隣小学校の児童を招待し、体験学習会を開催しています。今年度は「つないでいこう、地球のいのち」をテーマに、延べ350人の児童が参加しました。身近な生活の中で一人ひとりが物を大切にしてリサイクル意識を持つことの重要性を教える授業内容で、当工場が取り組んでいるエコ活動も紹介しました。



すべての人が安心できる安全衛生環境を促進。

安全衛生マネジメントシステム

当社は2018年11月28日に建設業労働安全衛生マネジメントシステム(NEW COHMS)が全社で認定されました。

2022年8月1日に安全衛生管理標準の改訂版を発行し、事業活動に伴う労働災害、公衆災害、交通事故の防止と安全衛生水準の向上に努めています。

工事部門における重点管理項目

【重機・車両に関する災害の防止】

- ①立入禁止措置と重機の安全補助装置の設置活用
- ②誘導者の配置
- ③オペレーター、作業員への教育指導(作業手順、KY活動、安全巡視)

【道路の陥没事故防止】

- ①道路管理者の承諾と確実な施工
- ②点検の実施と異常時の措置

【架空線等上空施設・地下埋設物・重要構造物の損傷事故防止】

- ①管理者の立合いと事前の確認調査
- ②目印表示等の設置による見える化
- ③「公共物近接作業実施要領」による指導と事故災害事例の活用による啓発

【安全管理向上のための教育の充実】

- ①安全衛生環境教育の充実
- ②施工検討会での安全品質管理の検討

【作業員に対する安全教育の充実】

- ①時間外労働の削減と休日取得
- ②特定業務従事者健康診断の受診、医師の就労制限意見の尊重

建築部門における重点管理項目

【墜落転落災害の撲滅】

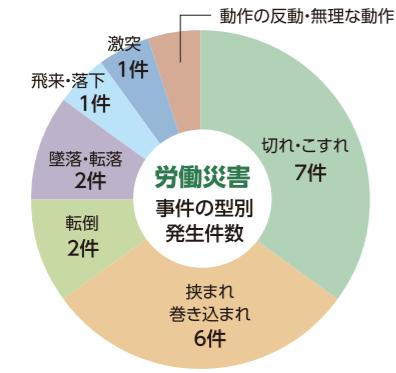
- ①工事検討会(鉄骨工事・足場組立解体工事)の実施と日常点検の実施
- ②墜落制止用器具(フルハーネス型、胴ベルト型)の適切な着用および使用の周知・指導の徹底

【建設機械等の稼働に関する災害の防止】

- ①クレーンなどの機械使用時の計画の立案とその確実な実施
- ②作業員および搬入出車輛運転手に対するルールの周知
- ③人と重機との接触を物理的および機械的に回避する方策の実施

2022年の事故・災害発生状況

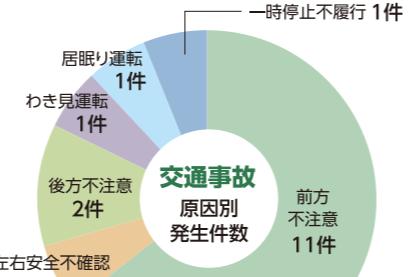
総 活



労働災害は20件(前年36件、前々年23件)発生しました。工事の労働災害は19件、合材工場で発生した労働災害は1件でした。『切れ・こすれ』『挾まれ・巻き込まれ』が多発しました。



物損事故は31件(前年44件、前々年17件)発生しました。地上・上空物の事故が約半数を占めました。人身事故は2件発生しました。



交通事故は17件でした。(前年22件、前々年19件)『前方不注意』による交通事故が多発し、全発生件数の64.7%でした。

パトロールの実施

当社では以下のようなパトロールを実施し、事故災害の撲滅に努めています。

社長パトロール

社長によって行われるパトロールです。



本社安全環境部によるパトロール

安全週間、年末年始、年度末に合わせて行われるパトロールを含め、本社安全環境部が隨時行う現場や工場のパトロールです。このパトロールでは安全、環境、品質の一元化の考えに基づき安全だけではなく、当社が認証取得している品質マネジメントシステム、環境マネジメントシステムの内部監査も兼ねた巡回を行っています。

支社、工事事務所によるパトロール

支社長をはじめとする支社幹部や工事事務所長によってパトロール計画に則り定期的に行われる安全パトロールを実施しています。

事業主パトロール

協力会社の事業主によって毎月2回以上行われる安全パトロールです。



協力会社との係わり

職長への教育について

建設業の担い手不足は業界が抱えている問題です。

当社は安全衛生環境協力会の正会員協力会社に所属する職長が、安全管理能力や施工管理能力と積算能力、生産性・利益向上を目的として、全国で「職長への教育」を実施しています。



マイスター職長制度について

当社の施工現場において労働災害防止と品質のさらなる向上を図ることは、喫緊の課題です。そのためには協力会社の優秀な職長を確保することは必要不可欠です。

「大成ロテックマイスター職長制度」は、優秀な職長を当社の施工現場に確保すると共に技術・技能を継承するために優良技能者報酬制度として2016年に定めたものです。



マイスター職長の認定条件

1 安全衛生環境協力会正会員の協力会社に所属し、当該会社に5年以上勤務している「現場施工に直接かかわる職長」で災害防止活動、職長会活動、職場(現場)環境改善、品質の向上・確保に積極的に協力し作業指揮等の能力が高く、実績・貢献度などが総合的に優秀な者。

2 認定基準

- 1 協力会社の正会員の社員で該当会社に5年以上勤務している者。
- 2 工事部主催の「職長への教育」を1回以上受講し成績が優秀な者。
- 3 職長・安責者教育終了後、5年以上現場に携わった者。
- 4 能力向上教育修了者。
- 5 新CFT又は、RST資格保持者であり協力会社に職長教育が実施できる者。
- 6 特別教育インストラクター資格取得に意欲がある者。
- 7 認定時に、新CFT又はRST資格を保有していないが、認定後1年内に新CFT又はRST資格を取得できる者。
- 8 CCUS登録をしている者。

3 スーパーマイスター

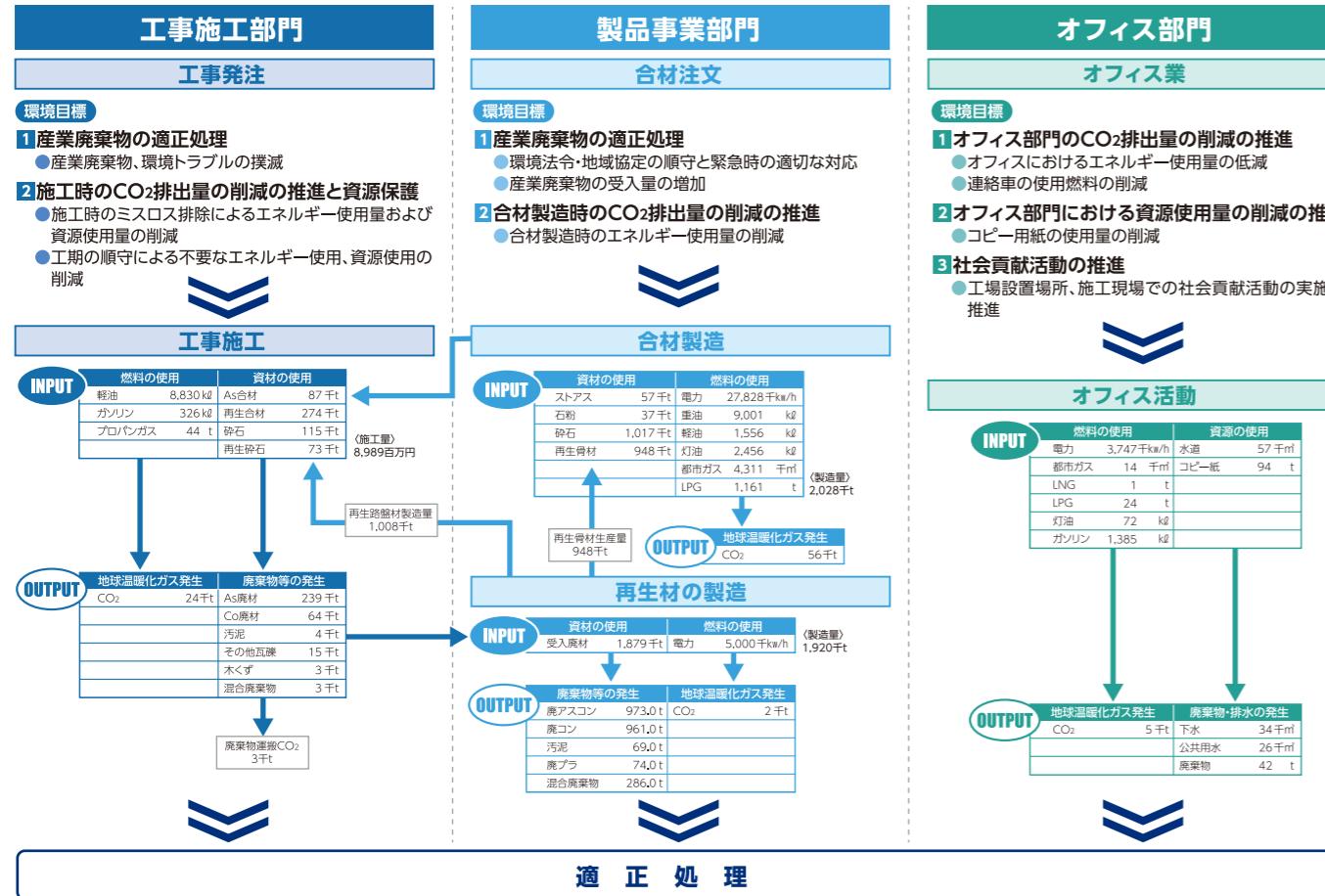
マイスター職長として3年間以上施工現場に従事し直近3年間の平均就労日数が年間100日以上で本人および指揮下の作業員が無事故・無災害であり実績・貢献度などが特に優秀な者。

※以下のいずれかに該当する場合は、認定から除外する。
 (1)68歳に到達した者。
 (2)過去1年間に当社施工現場にて重大な公衆災害並びに休業4日以上の労働災害を発生させた協力会社に所属する者。(重大な公衆災害については、事故発生後当社が判断する。)

あらゆる事業活動において環境負荷を低減。

環境負荷物質の排出と削減状況

舗装工事現場から排出されるアスファルトやコンクリートの廃材などを再生する中間処理プラントの活用により、産業廃棄物最終処分量を削減しています。さらに、日々の業務においても、CO₂排出量削減に向けた取り組みを行っています。



城南島リサイクルセンター
主にコンクリート廃材の中間処理を行なっています。



工事実績 2022年度

大成ロテックでは、全国各地でさまざまな事業活動を展開しています。
2022年度に携わった代表的なプロジェクトをご紹介します。

東京国際空港A誘導路等舗装改修工事

発注者 国土交通省 東京航空局

竣工日 2022年6月30日

羽田空港内の4本の滑走路のうち3本に近接する4か所の誘導路改修工事です。供用中の誘導路の施工のため、日々開放する必要がありました。



現場代理人
平 崇永

施工箇所ごとに作業時間帯が異なることから、日々のタイムテーブル、ルート上の危険箇所などを具体的にわかりやすく作業員などに伝えることが大変重要でした。日々同じ作業(切削オーバーレイ)が連続することでマンネリ化しないよう、緊張感をもって、作業員やダンプ運転手などに対してタイムテーブルや危険箇所などを周知することに苦労しました。

初めての現場代理人というプレッシャーがありましたが、大型アスファルトイニッシャー、大型切削機、ローラーなどが輻輳する約40日間を無事故・無災害で竣工し、発注者からも高い評価をいただきました。



舗装補修大規模修繕工事(2021-3-神)

発注者 阪神高速道路株式会社

竣工日 2022年10月31日

3号神戸線のリニューアル工事において、損傷している舗装を補修する工事です。施工延長5km、総面積43,000m²を、10日間の通行止め期間に昼夜連続作業で施工しました。



現場代理人
前田 武士

事前調査終了から約4か月で本施工という短い準備期間で、工事延長約5kmの通行止め工事を完成させました。職員50人、作業員400人/日以上の体制で施工し、施工の準備、工程調整などに大変苦労しました。

工事にきていただいた職員、協力業者にご尽力いただいたおかげで、計画通りに施工が完了し、発注者から優秀工事受注者として表彰されました。



新東名高速道路 森掛川IC～浜松SA間6車線化工事

発注者 中日本高速道路株式会社 東京支社

竣工日 2022年11月2日

新東名高速道路の6車線化(片側3車線)は、車両の通行能力を向上させ、渋滞が緩和による交通の円滑化、物流の効率化による経済活動の活性化を促します。また、東名高速道路の自然災害やリニューアル工事時の代替交通路の確保、車間距離が広がることから安全性の向上などが期待されます。



現場代理人
富田 裕司

同時期に発注された静岡県内の6車線化工事の10工区のうちの一つです。資機材や施工班の確保に苦労しました。また、設計図書と実際の工事現場が一致しないことから、工程、施工方法の大幅な見直しが必要でした。片側3車線化後は、橋梁の床版防水の補修工事もあり、結果的に4年弱の長丁場の現場となりました。工期が長く、担当職員も入れ替わる現場となりましたが、発注者からも早期6車線化について感謝状をいただくなど思い出深い現場となりました。



工事施工高は減少しましたが、CO₂排出量の基となる重機の使用が多い工事の施工が多かったため、CO₂の排出量の総量および原単位が増加しました。

生産量は対前値比若干減少し、それに伴いCO₂総排出量も若干減少しました。また、製品製造1tあたりのCO₂排出量は減少しました。